

公共交通の利用促進について

1. 目的

持続可能な公共交通を目指し、地域全体で公共交通を支えていく環境を構築するため、住民等への利用促進に向けた啓発を行い、悪循環から好循環への転換を図る。



▲持続可能な公共交通に向けた転換イメージ

2. これまでの取り組み状況

● 小学生向け出前講座

公共交通について学び、興味を持ってもらうことを目的に運輸支局、バス事業者、県バス協会と共同で、小学生を対象に、交通に関する基礎知識、バスの乗降方法等の学習、体験乗車等を実施。



▲出前講座の実施状況

● 公共交通利用促進キャンペーン、路線別利用促進

・花畑広場での公共交通に関するイベントのほか、オープンハウス、パンフレット・SNS等を活用した利用促進を実施。
・特定路線の沿線地域で、バス停別時刻表や沿線商業施設の紹介等の情報提供を実施。

● バスガイドマップの作成

熊本市内のバス路線・運行系統・バス停を網羅したバスガイドマップを作成し、窓口等での配布、ホームページ掲載を実施。

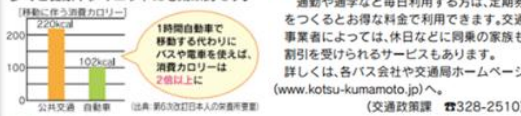
● 広報活動の実施

- おはよう熊本市にて放送
- 生活便利グッズに掲載
- 「熊本市の公共交通について」
- 「公共交通に関する情報」
- 市政だよりに掲載
- 熊本市政だよりテレビ版にて放送

バス・電車を使うと「お得！」がたくさん

公共交通を利用すると、交通渋滞の緩和や地球温暖化の原因となる温室効果ガスの削減などいろいろな効果があります。4月は進学や就職などの変化が訪れる時期です。この機会に通勤・通学方法を見直しませんか。

自動車ばかり利用していると、歩く機会が減り健康によくありません。バス停や駅まで歩くことで健康やダイエットにも効果的です。



▲市政だよりでの広報例

バスや電車を使うメリット

環境にやさしい！
CO₂(二酸化炭素)を減らす方法として、自動車に乗る機会を減らすことが最も効果的と言われています。
自分の時間を過ごせる！
自分で運転しないで、本を読んだり、勉強したり、音楽を聴いたり…時間を有効に使えます。
定期券でお得に！
通勤や通学など毎日利用する方は、定期券をつくるとお得な料金で利用できます。交通事業者によっては、休日などに同乗の家族も割引を受けられるサービスもあります。詳しくは、各バス会社や交通局ホームページ(www.kotsu-kumamoto.jp)へ。

公共交通の維持・充実のために

公共交通の担い手であることを自覚しましょう
・バス・電車をみんな利用しましょう
・クルマでバス優先レーンや市電の軌道敷内を走行する場合にはルールを守って走行しましょう
・バス停から出かけるバスを優先させましょう

▲市政だよりテレビ版の広報例

3. 今年度の取組

● バス待合環境の改善(バス待ち処の拡充)

- ・バス停直近の商業施設と連携し、快適なバス待合環境を提供。平成30年度に26店舗を供用。
- ・バスロケーションシステムが供用され、今年度はバス停80m以内の商業施設等との連携拡充を検討。



▲バス待ち処のイメージ

平成30年10月	平成31年4月	令和元年度
「バス待ち処」の供用開始	「バスロケーションシステム」の導入	「バス待ち処」の拡充
バス停直近の26店舗で供用開始 (内訳) ○イトン九州 2店舗 ○マックスバリュ九州 4店舗 ○セブンイレブン 13店舗 ○ファミリーマート 6店舗 ○ローソン 1店舗	 バス接近情報	バス停から80m以内の店舗等との連携拡充を検討 「バスロケーションシステム」でバス接近情報が分かるため、「バス停から少し離れた店舗等への拡充」を検討。

▲取組の展開イメージ

● 利用者への周知広報

- ・熊本桜町バスターミナルの新しい乗り場、路線バス運行系統の新案内記号を新たに周知。
- ・本年4月に導入したバスロケーションシステムを引き続き周知。

平成31年4月	令和元年9月	
「バスロケーションシステム」の導入	「熊本桜町バスターミナル」の供用開始	「路線バス運行系統の新案内記号」の供用開始
 ▲バス接近情報の表示例 引き続き周知	 ▲熊本桜町バスターミナルのイメージバス	 ▲新案内記号

▲取組の展開イメージ